

News Letter

第33号

2022年12月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル 2階
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：http://www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

令和4年度 事業状況のご報告

今年2月、第11回CAFフラメンコ・コンクールを無事開催することができました。当時は新規感染者が急増し、海外留学を提供するこの取り組みが、時勢柄適しているのか熟考致しました。しかし入賞者のみならず、出演者の才能を動画配信や審査を通して多くの方の目に留めていただけたこと、また今後の海外派遣を通して入賞者の活動をお手伝いできることに大きな喜びを感じております。11月、12月にはワークショップ(『～フラメンコ、ほんものを学ぶ～』講師メルセデス・コルドバ)を名古屋と東京で開催することができました。新型コロナウイルスの影響で延期になっていた助成作品も徐々に開演が実現しており、コロナ共存という新たなステージでの今後に期待しております。

2023年が日本のフラメンコ界にとって実り多き年となりますよう、私共も尽力してまいります。



第11回CAFフラメンコ・コンクール受賞者コメント

優勝 伊藤 笑苗

素晴らしい賞を受賞できたことを嬉しく思っております。コロナ対策のため、コンクールは無観客開催でしたが、大切な人たちが見守ってくれている思いながら踊りました。受賞できたのは、様々な形で私に関わり支えてくれた方々のおかげです。ありがとうございます。

受賞後は、不思議な時の流れを感じました。多くの出来事が足早に過ぎ去る一方で、コンクールからまだ1年も経っていないことは遅く感じます。1月下旬からは約2年ぶりの渡西を予定しています。向こうでの具体的なプランはほぼ未定ですが、踊りの技術以外にも、より広い視点からフラメンコに向き合えたら満足です。

最後になりましたが、コンクールや公演の支援など、フラメンコにたくさんの希望を与えてくださっているMARUWA財団には心より感謝申し上げます。



準優勝 久保田 晴菜



CAFフラメンココンクールにて準優勝させていただきましたこと、改めて皆様のお力添えに感謝申し上げます。初めて出場した5年前、ファイナルに進出できたことが、私のフラメンコ人生の大きなターニングポイントとなりました。自分の信じた道を進んでみよう大きく背中を押していただき、今の私があります。

今回の決勝では、様々なアドバイスやタイミングが重なり、いつかチャレンジしたいと思っていたミラプラスに挑戦しました。全幅の信頼を置く、桂子さん、尾藤さん、雄輔さんとともに作り上げ、4人で受賞できたことを大変嬉しく思っております。本当にありがとうございます!!

まだまだ道半ば。まずはスペイン留学で多くのものを吸収し、更に精進を続けていく所存です。改めて、財団の皆様、審査員の先生方にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

海外留学賞 宮北 華子

長きに渡りご指導くださいました平富恵先生をはじめ、家族、ミュージシャンの皆様、スタジオの仲間、MARUWA財団の皆様、お世話になりました全ての皆様へ心より感謝申し上げます。コロナ禍、先の見えない不安の中、ただひたすら稽古を続けてまいりました。その結果、このような素晴らしい賞をいただき、大きな励みとなりました。そして、舞踊家としての第2のスタートラインに立ったような感覚であります。

9月よりセビージャのクリスティーナヘーレン財団での研修がスタートしました。多くの学びと刺激を受け、フラメンコ漬けの充実した毎日です。フラメンコの温かさと同時に厳しさ、そして面白さを実感しています。

今後も、芸術の意味を噛みしめながら、その素晴らしさを体現できるよう精進を重ねてまいります。



令和4年度 助成作品決定

応募者名・作品名	決定助成金額	公演予定日
大沼 由紀 新作舞踊公演「音の旅人 2」	130 万円	2022 年 11 月 2 日 於：座・高円寺 2
内田 好美 ソロ公演「孤独生」vol.1/10 ～覚醒～	80 万円	2022 年 5 月 15 日 於：愛知県芸術劇場小ホール
土方 憲人 Luz Perfecta	60 万円	2022 年 10 月 16 日 於：新宿ガル口チ
香月 さやか CHAKA String Quartet “Música y Danza2022”	30 万円	2022 年 9 月 3 日 於：インスティトゥト・セルバンテス東京
東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 「東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会第 29 回リサイタル」	20 万円	2022 年 4 月 28 日 於：三鷹芸術センター 星のホール
東京大学フラメンコ舞踏団 「2023 年 東京大学フラメンコ舞踏団卒業公演」	10 万円	2023 年 3 月 18 日 於：アルハンブラ (西日暮里)

令和 4 年度助成作品は上記 6 作品に決定致しました。うち以下の 4 作品より公演の感想が届きましたのでご報告いたします。

内田好美フラメンコソロ公演『孤独生』Vol.1/10 ～覚醒～

2022 年 5 月 15 日 (日) 愛知県芸術劇場小ホール

内田 好美

内田好美フラメンコソロ公演『孤独生』Vol.1/10 ～覚醒～が無事終了致しましたことをご報告させていただきます。今回、私の想いに歩み寄り、助けてくださったミュージシャン、舞台スタッフの皆様、初演を見届けてくださったお客様、そして今回の劇場作品に助成くださいました MARUWA 財団様に心から感謝申し上げます。

『孤独生』というテーマを 10 作品創作する私の第一歩として、この初演はとても特別なものとなりました。創る過程、フラメンコと向き合う時間は、足りないものを克服したいという渴望感と、すでに満たされている物や事への幸福感を同時に味わうことができました。今回の作品は、内田好美がフラメンコダンサー内田好美を演じるという設定で～覚醒～というサブテーマのもと、やりたいことを詰め込み、しゃべったり、唄ったり、踊ったり、自分に勝負を挑みました。

次回作は『孤独生』Vol.2/10 ～対価～です。テーマとしては難しいですが、笑いあり？涙あり？とひとりでも多くの方に楽しんでいただけるような作品に仕上げたいと思います。これからも皆さまに見届けていただけたら幸いです。



撮影者：大森有起

Luz Perfecta

2022 年 10 月 16 日 (日) 新宿ガル口チ

土方 憲人

今回の主演公演は、2021 年の秋口辺りから構想、そして計画していたものでした。しかし、まだその頃はコロナ禍の状況が今年よりも不安定でこれほどの規模の公演を果たしてできるのだろうか？という不安もありました。先の見えない中でしたが、この機会を失うとまた次いつできるかもわからない状況でしたので、きっと先が明るくなると信じて開催に踏み切りました。このような規模の公演を主催する事は初めてでしたので、沢山の苦労もありました。温めていたテーマやコンセプトをどのようにすれば伝える事ができるのか、ということを探りながらの舞台作りでしたし、どこまで実現可能なかと手探りでやっていたような感覚でした。まだまだ拙い部分も沢山あったと思いますので、そういう中でもお客様からの好評のお声を多々頂けたことは驚きでもありましたし、嬉しい気持ちもありました。フラメンコ舞踏家として今回の経験を活かし、自身の踊りの深みがさらに増すように今後も稽古に励んでいこうと思います。今回助成をして下さった神戸様はじめ、貴財団の皆様、素晴らしい共演者や舞台に関わってくださった皆様、舞台に足を運んでくださり、いつも応援して下さる皆様に心から感謝申し上げます。この度は、どうもありがとうございました。



撮影者：川島浩之

CHAKA String Quartet “Música y Danza” 2022

2022年9月3日(土) インスティトゥト・セルバンテス東京

香月 さやか

当財団は設立当時より、子供たちが生の音楽や踊りに直接触れる機会を増やすために活動してまいりました。しかしコロナ禍において学校での公演開催が困難になり、文化施設での公演もキャンセルや無観客公演への変更など、思う様に活動ができませんでした。この度、スペイン国営の文化施設においてスペイン音楽と踊りをテーマとした公演を企画し、助成事業として採択していただき、新型コロナウイルス第7波の真っ只中ではありますが無事に有観客で開催することができました。子供たちを外へ連れて行くことが億劫になり、コンサートに行く機会が減ってしまった中、子供だけではなく親も気を緩めて参加できたことが嬉しかった、フラメンコを習ってみたい、チェロを弾いてみたい、など。また、フラメンコにおいて弦楽器とパーカッションという構成は珍しく、ギター不在での音楽作りは挑戦的ではありましたが、経験豊富なフラメンコダンサーの協力もあり、興味深い内容となりました。フラメンコ奏者も何名が来場していただき、予想以上に評価していただきました。フラメンコ音楽は楽譜などの学ぶためのツールが少なく、踊りを通して身体で感じて学んでいくことが基本かと思われそうですが、優秀なクラシック奏者と共にリズムや踊りを理解しながら模索し、さらに高度な踊りとのコラボレーションを実現していきたいと強く思いました。



撮影者：インスティトゥト・セルバンテス東京

東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 第29回リサイタル

2022年4月28日(木) 三鷹芸術文化センター 星のホール

畑 友弥子

コロナ禍の3年ぶりのホール開催となった今回のリサイタルは、多くの部員にとって有観客で踊る初めての経験であり、とても有意義なものとなりました。昨年まではYouTube動画配信という形で行っていたため、対面で披露させていただく機会がありませんでした。ですが、今回実際に舞台上に立ち、スポットライトを浴び、大勢の観客の方を前に緊張しつつも楽しく舞台を上げることができました。動画配信では感じることでできなかった観客の方との一体感や、仲間と一つの舞台を作り上げる楽しさを改めて感じることができました。今回のリサイタルを開催するにあたり、多大なご支援をいただきました貴団体にこの場を借りて御礼申し上げます。



撮影者：畑 友弥子

制限のある環境での活動はまだ続きますが、今回のリサイタルで感じることでできたフラメンコの楽しさ、そして支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからもより良い舞台を作り続けられるよう部員一同引き続き努力をさせていただきます。

令和3年度 助成作品のご報告

新型コロナウイルスの影響で延期となっていた助成作品より公演の感想が届きましたので、ご報告いたします。

「日本に恋した、フラメンコ」第2弾企画 首里城復興祈念ライブ

2021年11月3日(水) 首里城復興祭 首里城復興祈念ステージ(芝生広場ステージ)

永田 健

今回の公演のテーマは首里城への復興支援と、沖縄民謡との融合でした。2019年の全国名所でセビナージャスを踊る映像プロジェクトを行い、沖縄県は首里城で撮影しましたが、その半年後に火災が起きました。撮影地に何かできることがないかと思い、今回復興祭へ出演。無料イベントでしたが、その映像を配信して応援料を募り、全額復興基金に寄付しました(11万円)。晴天下でしたが、首里城を思いながら踊るファルーカは普段とは違う感覚で不思議でした。そして沖縄民謡とのコラボですが、地元ミュージシャンに沖縄を代表する民謡「ていんさぐぬ花」をセビナージャスにアレンジしてもらいました。沖縄のエネルギーと文化が自然に融合した音源が届いた時、まだコロナ感染者が拡大してイベント開催できるかどうか不透明な状況でしたが、大きな力をもらい、なんとか実現させたいとの思いが強まりました。現地ではフラメンコミュージシャンと合同でリハーサルする中で、セビナージャスだけでなく他のフラメンコの踊りや歌にも三味線を交えるなど、コラボの輪を広げていくことができました。沖縄出身のギタリスト川満慶氏も実は沖縄での公演は初であり、地元踊り手や沖縄民謡とのコラボという意味で、次につながる企画になったと思います(11月6日には月で勝連城跡でもライブをしましたがブレリア×沖縄民謡も演奏)。



撮影者：安里寿美

微力ながら首里城復興祭に貢献できたこと、そして生演奏の機会が少ない沖縄で、新しい形のフラメンコライブを開催できたことを嬉しく思います、「ご協力頂いた皆さま、そして助成頂いたMARUWA財団に感謝申し上げます。

<おんがく×ブンガク> vol.5 ～ガルシア・ロルカ～

2022年6月30日(木) 座・高円寺2

下山 静香

“新芸術サロン”と銘打ち、2018年より100席以内の会場で主宰開催してきた「おんがく×ブンガク」は、このたび初めて、ステージのあるホールでの開催となりました。スペインより帰国後、様々なご縁や出会いによって活動のフィールドを広げながらも、常に「スペイン」をライフワークの軸としてきた私にとって、このシリーズでフェデリコ・ガルシア・ロルカを取り上げるのはマストと言ってもよいことでした。

詩人・劇作家として知られるロルカは音楽の才にも恵まれ、クラシック界にもフラメンコ界にも重要な功績を残していることを広く紹介したいという思いから、一回の公演としてはかなり盛りだくさんの内容となりました。多面的で濃いロルカの世界、そのどの部分にスポットを当てて構成するのかという点で悩むこともありました。ゲストの方々の素晴らしいパフォーマンスのおかげで、様々なロルカ像を感じとっていただけたのではないかと思います。また、ピアノ演奏とフラメンコ舞踊をひとつのステージで両立させるという自分自身のチャレンジも実現することができました。

この公演の趣旨をご評価くださり、令和3年度助成事業としてお選びいただきましたことに心より御礼申し上げ、今後の精進への励みとさせていただきます。ありがとうございます。



撮影者：小松利光、津内口翔太、相馬祐太

第12回CAFフラメンコ・コンクール開催日時決定

第12回CAFフラメンコ・コンクールの日時が決定致しましたので、ご報告いたします。

【一次予選】 DVDによるビデオ審査

受付期間：2023年9月1日(金)～14日(木)【必着】

応募用紙は財団HPにて同年8月より配布開始

【二次予選】 2023年11月14日(火) 15:00～ 北千住 Theatre1010

【本選】 2023年11月30日(木) 16:00～ 北千住 Theatre1010



詳細は随時HPにてご確認ください。

令和5年度 助成事業 募集案内

■助成金

(プロ枠) 総額 300万円 (学生枠) 総額 50万円

■助成対象

2023年4月1日～2024年3月31日までに終了予定のフラメンコやフラメンコ音楽の普及、向上につながるような個人或いは団体が主催する国内公演、イベント企画(プロ枠)、学校の部活やサークルなど学生が運営する国内公演、イベント企画(学生枠)で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます。

■応募方法

当財団ホームページの助成事業のお問い合わせフォーム(<https://mwf.or.jp/contact/>)より「助成応募用紙」をお申し込みください。応募用紙に活動の企画、予算、過去の芸術活動等を要約してご記入の上、台本或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD(10分間)と共にご郵送ください。

■応募受付期間

2023年1月10日(火)～2月9日(木)【必着】

■選考結果

意欲的で優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2023年3月31日(金)までに各団体宛に通知いたします。尚、助成金支給は公演終了後1か月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA財団
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13

MARUWAビル2階

Tel.03-5419-6513

Fax.03-5419-6514

E-mail info@mwf.or.jp

URL <http://www.mwf.or.jp/>